

市民との対話事業 **市長とふれあいトーク**

実施日時	平成 26 年 12 月 11 日 (木) (19 : 00 ~ 20 : 00)		
実施場所	水沢公民館	参加人数	17 人
参加対象	水沢地区農業連絡協議会		
懇談内容	<p>【1. 発言者】</p> <p>畑作の応援をしてほしい。産地間競争は質・量ともに求められるためよい圃場が欲しい。また農協と行政が手を組んで力を入れる産品に支援を行うなどの方法がないか。</p> <p>【市長】</p> <p>枝豆やアスパラで随分頑張っているところもある。農場の整備も支援していかなくてはと思う。</p> <p>【2. 発言者】</p> <p>① 当地域ではサルナシジェラートを作る計画があるが、火焰型土器の形をしたコーンを作ってジェラートを売りたい。コーンを作れるところがあれば市内のどこでもそのコーンを使ってPRをしたらどうか。</p> <p>② 耕作放棄地をサルナシ栽培地にする、「JRのすこやかファクトリー」でのサルナシの活用を市から応援してもらえるとありがたい。</p> <p>③ 堆肥センターについては水沢がダメでもどこかにぜひお願いしたい。</p> <p>【市長】</p> <p>① コーンを使ったPRは非常にいいと思う。</p> <p>② トラフグの養殖の場合、約2年半を要したように多少のリードタイム・苦勞する期間があるのが当たり前だとも思う。本気で取組むとなったら産業政策課やクロスステンと応援したい。</p> <p>③ 色々な取組みがある中で、スムーズに進むものと長い期間固まらないものがある。ご意見の件については後者のように思う。</p> <p>【3. 発言者】</p> <p>県のホワイトデータセンター候補地の一つに南雲原が挙がった。市から強力に進めてもらえるのか。</p> <p>【市長】</p> <p>この事業は知事のプッシュで始まった。ライバルは魚沼、津南、上越だがここからはトップセールスが大事だと言われている。市長は動かなかったなどと言われたいように何とかしたいと思う。</p> <p>【4. 発言者】</p> <p>米価が下がった。大規模農家は田を借りて年貢を5年、10年契約で行っているところが多い。これからさらに下がると賃料の負担が上がる。</p>		

魚沼市のような賃料に対する補助を市は応援を考えているか。

【市長】

国は基本的に大規模農家への集約を行おうとしている。ただ大規模農家は固定費が大きいため売上が伸びないと厳しい。中小規模の農家は多少のリスクを吸収できる面がある。どこに支援するかは全体を見て考えないといけないが、魚沼のやり方は一つの例だと思う。